

フローリングの日常注意事項、メンテナンス

注意事項 ※ 木材は水に敏感です。下記事項を注意してください。

木質床は、水分を吸収して伸びます。洗剤を撒いて機械で高速洗浄する方法は、絶対にやめてください。

フローリングの洗浄後、乾燥した際に表面割れや剥離、カップ状の反り、塗装に歪みなどの異常が起きます。充分ご注意ください。

1. 日常のお手入れ

- ① 乾いた布やダストモップで乾拭きしてください。（濡れた雑巾やモップは絶対に使用しないでください。）
- ② 汚れが取れない場合は、雑巾に中性洗剤を染み込ませて強く絞ってから軽く拭いてください。
- ③ 弊社のフローリングはノンワックスでご使用頂ける工場塗装をしております。施工後のクリーニング（水洗浄）やワックス掛け等は早期の不具合の原因となる為、おすすめ致しません。
- ④ クリーニング（水洗浄）やワックス掛けは、お客様の責任による作業となります。不具合が起きた場合、弊社の方では対応出来かねますので、ご了承下さい。

お客様の責任にてワックス掛けを行う場合の注意事項

- ワックス作業する場合は、ワックスメーカーの取扱説明書をよく確認してから作業に取り掛かって下さい。
- ワックスは木質床用の樹脂ワックスをご使用下さい。
- 大量のワックスを一度に塗ってしまうと、フローリングのすき間から水分が浸透し製品の色が変わったり、過剰な水分の吸収により割れや反り、剥がれが発生致します。
- クリーニングの際のリムーバーを使用する場合、水分が急激に木材に吸収され不具合の原因となることがありますので機械での散布は不適です。雑巾やウエス等に含ませ強く絞って頂き作業を行ってください。

2. 床を傷つけないように

- ① 机、椅子、家具などの床と接触する部分をゴムキャップやフェルトなどでカバーしてください。（プラスチック製のキャップなどは床に傷がつきます。）
- ② 土や泥を持ち込まないように出入り口付近にマットを敷くことをおすすめします。
- ③ 重いものや硬いものを落とすと傷やヘコミの原因となります。
- ④ 鉄製やプラスチック製の車輪のついた椅子や家具は床表面に跡がついたり、傷やワレの原因となりますのでゴム製のものをおすすめします。
- ⑤ 重機や重い物を動かす際は、フローリングの上に板や保護シート等を敷き、フローリングに負荷が掛かりすぎないように注意してください。（木材の繊維が破壊され、ワレ・ササクレ・剥離の原因となります。）

3. 汚れを付けないように

- ① ガム、絵の具、墨など付着させないようにご注意ください。
- ② 水や油類をこぼさないよう注意してください。（こぼした場合はすぐに拭き取るようにしてください。）

4. 床暖房について

- ① 床暖房用のフローリングの場合、設定温度を高く設定したり、別の暖房機具と併用した場合に木材の水分が過度に抜けて乾いてしまい、ワレや反りなどの不具合が発生致します。室内の湿度を約50%前後にして頂き木材の水分が過度に抜けないようお願い致します。
- ② 床暖房の設定温度は床表面温度30度以下がおすすめです。温度を高く設定してしまうと低温やけどの恐れがありますので、ご注意ください。
- ③ ストーブやエアコン、温風器などで直接フローリングに温風が当たってしまうと木材の水分が抜けやすくなる為、注意してください。

5. その他

- ① 木質のフローリングは状態呼吸をしますので長時間遮蔽物を置かないでください。床材の変色や不具合の原因となります。（床暖房をご使用の場合は熱籠りの原因となりますので注意してください。）
- ② 結露した場合はすぐに乾いた布で拭いてください。長時間放置してしまうと変色や不具合の原因となります。
- ③ 室内の湿度は50%前後が人体にも、床材にも最適です。空気の乾燥が続くと木質のフローリングは乾燥し若干すき間が開いたり、カップ反りを起こすことがあります。空気中の湿度が多い季節になると治まります。すき間に硬い詰め物などしないでください。
- ④ フローリングにテープを貼る場合の注意
フローリングにビニールテープ等を貼って長時間放置しないでください。塗膜が汚染されたり、テープをはがす時にフローリングの表面がはがれることがあります。
テープを貼る場合は、養生テープなど粘着力の低いタイプを使用ください。また貼ったまま長時間放置することは避けてください。テープはゆっくりはがし、床面をいためないようご注意ください。